

1. 令和4年度 第4期次世代育成支援行動計画・第2期子ども・子育て支援事業計画 進捗状況の評価について

当該計画の評価については、計画書に記載の通り、市で実施している「市民満足度調査」の結果を基準において評価を行っています（計画書67ページ参照）。評価項目が市民満足度調査結果においてA領域（重点改善項目）、B領域（ウォッチング項目）、C領域（重点維持項目）、D領域（維持項目）それぞれのどの散布領域に当てはまるかについても併せて掲載しています（詳細は参考資料の散布図参照）。

なお、本計画の参考値として「市民満足度調査」において「非常に満足」「満足」「やや満足」と回答した項目群を「満足チーム」とし、「やや不満」「不満」「非常に不満」と回答した項目群を「不満チーム」とし、回答割合の傾向についても考察してみました。

基本目標1 地域における子育て支援体制の構築																		
関連課：子ども福祉課、社会福祉課、生涯学習課、健康増進課、まちづくり政策課、都市計画課、学校教育課																		
	評価項目	散布領域	回答割合		満足値 ③ (①+②)	策定時 現在値④	今年度 目標値 ⑤	策定時現在値と の比較⑥ (③-④)	今年度目標値 との比較⑦ (③-⑤)	回答割合の傾向								
			非常に 満足①	満足②						非常に 満足	満足	やや 満足	やや 不満	不満	非常に 不満	無回答	満足 チーム	不満 チーム
15	子育て支援の充実	C	4.51	24.21	28.72	31.10	31.56	-2.38	-2.84	4.51	24.21	39.73	14.19	3.34	1.84	12.19	0.78	0.22
1	情報交流を支える環境づくり	C	1.84	30.55	32.39	33.33	33.82	-0.94	-1.43	1.84	30.55	42.90	15.53	3.01	1.34	4.84	0.79	0.21
20	社会活動支援体制の充実	D	2.34	17.70	20.04	20.79	21.10	-0.75	-1.06	2.34	17.70	46.74	16.86	3.34	0.83	12.19	0.76	0.24
平均値			2.90	24.15	27.05	28.41	28.83	-1.36	-1.78	2.90	24.15	43.12	15.53	3.23	1.34	9.74	0.78	0.22

基本目標1におきましては、「子育て支援の充実」、「情報交流を支える環境づくり」、「社会活動支援体制の充実」を評価項目としていますが、全項目において今年度目標値を下回る結果となりました。

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、子育て支援事業におきましては、換気や感染対策を徹底して行い

ましたが、参加人数を制限しながらの実施や、規模や内容を縮小しての実施となりました。保育所や児童館（センター）につきましては、感染拡大防止の観点から園庭開放や自由来館を中止し、利用児童のみの受入れとしました。また、送迎の保護者は室内に入らないようにする、外部講師の受入れを中止するなど、外部との接触をできる限り減少させました。感染拡大防止の観点では必要な対応でしたが、サービスの向上にはつながらず、市民満足度では低い評価となった可能性があると考えられます。

基本目標2 仕事と生活との両立の推進																		
関連課：子ども福祉課、産業振興課																		
	評価項目	散布領域	回答割合		満足値 ③ (①+②)	策定時 現在値④	今年度 目標値 ⑤	策定時現在値と の比較⑥ (③-④)	今年度目標値 との比較⑦ (③-⑤)	回答割合の傾向								
			非常に 満足①	満足②						非常に 満足	満足	やや 満足	やや 不満	不満	非常に 不満	無回答	満足 チーム	不満 チーム
5	男女共同参画社会の推進	B	0.83	14.36	15.19	14.78	15.00	0.41	0.19	0.83	14.36	41.90	25.88	4.51	1.17	11.35	0.64	0.36
15	子育て支援の充実（再掲）	C	4.51	24.21	28.72	31.10	31.56	-2.38	-2.84	4.51	24.21	39.73	14.19	3.34	1.84	12.19	0.78	0.22
16	保育サービスの充実	C	5.01	23.54	28.55	28.35	28.77	0.20	-0.22	5.01	23.54	38.56	14.86	3.01	1.17	13.86	0.78	0.22
平均値			3.45	20.70	24.15	24.74	25.11	-0.59	-0.96	3.45	20.70	40.06	18.31	3.62	1.39	12.47	0.73	0.27

基本目標2におきましては、「男女共同参画社会の推進」、「子育て支援の充実（再掲）」、「保育サービスの充実」を評価項目としておりますが、「子育て支援の充実（再掲）」と「保育サービスの充実」で今年度目標値を下回る結果となりました。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、市内保育施設が一部または全部臨時休園となる事態がしばしば発生し、一時預かり事業や病児保育事業の利用も制限される事態が生じたことが、影響している可能性があると考えられます。

一方で、子育てしやすい就労環境づくりについては、ハローワーク仙台及び名取市と連携して出張ハローワークin名取を開催し、市内企業とのマッチングを行いました。

しかしながら、「満足チーム」と「不満チーム」の割合につきましては、全体平均で「満足チーム」が8割に到達しない結果となりました。

基本目標3 親子の健康の確保及び増進																		
関連課：健康増進課、社会福祉課、学校教育課、子ども福祉課、産業振興課																		
	評価項目	散布領域	回答割合		満足値 ③ (①+②)	策定時 現在値④	今年度 目標値 ⑤	策定時現在値と の比較⑥ (③-④)	今年度目標値 との比較⑦ (③-⑤)	回答割合の傾向								
			非常に 満足①	満足②						非常に 満足	満足	やや 満足	やや 不満	不満	非常に 不満	無回答	満足 チーム	不満 チーム
17	母子保健サービスの充実	C	3.67	24.54	28.21	28.18	28.60	0.03	-0.39	3.67	24.54	39.23	12.85	3.34	0.67	15.69	0.80	0.20
15	子育て支援の充実（再掲）	C	4.51	24.21	28.72	31.10	31.56	-2.38	-2.84	4.51	24.21	39.73	14.19	3.34	1.84	12.19	0.78	0.22
平均値			4.09	24.38	28.47	29.64	30.08	-1.18	-1.62	4.09	24.38	39.48	13.52	3.34	1.26	13.94	0.79	0.21

基本目標3におきましては、「母子保健の充実」、「子育て支援の充実」を評価項目としていますが、両項目とも今年度目標値を下回る結果となりました。

新型コロナウイルス感染拡大はあるものの、市内3つの中学校の生徒に対し、助産師や保健師による妊娠出産、親になることについての講話を行いました。また、伴走型支援事業を充実させ子育て家庭が安心して子育てできるよう妊娠期から出産後まで継続的に見守りを行うとともに、母子手帳交付のタイミングで5万円、出産のタイミングで5万円を給付しました。

食育部門につきましては、11月に市内全域で食育ウィークを設定したり食育レターを発信したりすることで、地場産品のPRを行いました。

「満足チーム」と「不満チーム」の割合につきましては、「母子保健の充実」につきましては、各評価項目の中でも唯一80%を超えており、満足度が高いことがうかがえます。

基本目標4 健やかな成長を育む教育環境の整備																		
関連課：生涯学習課、市民図書館、まちづくり政策課、学校教育課、子ども福祉課、社会福祉課																		
	評価項目	散布領域	回答割合		満足値 ③ (①+②)	策定時 現在値④	今年度 目標値 ⑤	策定時現在値と の比較⑥ (③-④)	今年度目標値 との比較⑦ (③-⑤)	回答割合の傾向								
			非常に 満足①	満足②						非常に 満足	満足	やや 満足	やや 不満	不満	非常に 不満	無回答	満足 チーム	不満 チーム
22	家庭教育の充実	B	1.50	16.86	18.36	19.76	20.05	-1.40	-1.69	1.50	16.86	43.41	19.20	2.17	1.00	15.86	0.73	0.27
23	学校教育の充実	C	2.67	19.87	22.54	24.19	25.28	-1.65	-2.74	2.67	19.87	40.40	17.70	2.84	1.00	15.53	0.75	0.26
平均値			2.09	18.37	20.45	21.98	22.67	-1.53	-2.22	2.09	18.37	41.91	18.45	2.51	1.00	15.70	0.74	0.26

基本目標4におきましては、「家庭教育の充実」、「学校教育の充実」を評価項目としています。両項目とも今年度目標値を下回る結果となりました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で2年間中止となっていた南国市との交流活動について、今年度は実施することができました。また、読み聞かせ講座も開催し好評でした。学校教育分野におきましては、校内研究充実支援事業や、指導主事学校訪問を通して、各校の授業づくりについて指導・助言を行い、学習指導要領の目指す授業間について啓発に努めました。

「満足チーム」と「不満チーム」の割合につきましては、いずれの項目も「満足チーム」が80%を下回る結果となりました。

基本目標5 子どもの安全を確保する環境の整備																		
関連課：都市計画課、土木課、子ども福祉課、生活環境課、学校教育課、生涯学習課、危機管理課																		
	評価項目	散布領域	回答割合		満足値 ③ (①+②)	策定時 現在値④	今年度 目標値 ⑤	策定時現在値と の比較⑥ (③-④)	今年度目標値 との比較⑦ (③-⑤)	回答割合の傾向								
			非常に 満足①	満足②						非常に 満足	満足	やや 満足	やや 不満	不満	非常に 不満	無回答	満足 チーム	不満 チーム
38	公園・緑地の整備	B	5.01	18.70	23.71	25.94	26.32	-2.23	-2.61	5.01	18.70	38.56	20.20	5.18	2.50	9.85	0.69	0.31
18	子どもの安全確保の充実	C	4.84	24.04	28.88	31.79	32.26	-2.91	-3.38	4.84	24.04	35.73	18.03	3.01	1.17	13.19	0.74	0.26
32	防犯対策の充実	A	2.84	20.03	22.87	25.08	25.45	-2.21	-2.58	2.84	20.03	37.06	22.54	4.84	1.84	10.85	0.67	0.33
30	防災対策の充実	C	4.67	26.21	30.88	34.02	34.53	-3.14	-3.65	4.67	26.21	37.06	17.53	4.51	1.50	8.51	0.74	0.26
平均値			4.34	22.25	26.59	29.21	29.64	-2.62	-3.06	4.34	22.25	37.10	19.58	4.39	1.75	10.60	0.71	0.29

基本目標5におきましては、「公園緑地の整備」、「子どもの安全確保の充実」、「防犯対策の充実」、「防災対策の充実」を評価項目としており、すべての項目において今年度目標値を下回っておりました。

市道においては、西大町線、たけくま中央線、駅前大通線の歩道補修工事及び道路パトロールで発見した歩道段差等の補修を行いました。また、通学路の安全についても、積極的に整備し改善すべき箇所の改善を図り、危険箇所をマップにして市のホームページに掲載しました。また、避難行動要支援者名簿の登録者全員に対し、内容を精査するための再調査を実施しました。

「満足チーム」と「不満チーム」の割合につきましては、「子どもの安全確保の充実」と「防災対策の充実」、「公園・緑地の整備」、「防犯対策の充実」すべてで8割に届きませんでした。

基本目標6 誰もが安心して子育てできる体制の整備																		
関連課：子ども福祉課、社会福祉課、健康増進課、学校教育課																		
	評価項目	散布領域	回答割合		満足値 ③ (①+②)	策定時 現在値④	今年度 目標値 ⑤	策定時現在値と の比較⑥ (③-④)	今年度目標値 との比較⑦ (③-⑤)	回答割合の傾向								
			非常に 満足①	満足②						非常に 満足	満足	やや 満足	やや 不満	不満	非常に 不満	無回答	満足 チーム	不満 チーム
21	市民生活への支援	A	2.67	19.37	22.04	19.07	19.35	2.97	2.69	2.67	19.37	40.40	19.53	4.01	1.00	13.02	0.72	0.28
12	障害者福祉の充実	C	4.01	22.04	26.05	24.74	25.11	1.31	0.94	4.01	22.04	40.73	16.69	3.51	1.50	11.52	0.76	0.25
平均値			3.34	20.71	24.05	21.91	22.23	2.14	1.82	3.34	20.71	40.57	18.11	3.76	1.25	12.27	0.74	0.26

基本目標6におきましては、「市民生活への支援」、「障害者福祉の充実」を評価項目としており、その両方共が今年度目標値を上回る結果となりました。

保護者の一時的な養育疲れ解消のための「子育て支援短期事業」や子ども食堂への補助である「岩沼市見守り強化等支援事業」を今年度から新たに開始しました。また、市内に設置された支援を必要とする子どものための施設「第三の居場所」（いわぬまきち）を活用しながら、関係機関で支援に必要な情報共有を行い、連携を図りました。

「満足チーム」と「不満チーム」につきましては、「市民生活への支援」、「障害者福祉の充実」ともに8割を下回りました。